



向江元気かい（南さつま市）

発表者：川 添 博 行 氏 ほか

私は、「向江元気かい」副会長の川添です。

「向江元気かい」の組織や活動事例を報告いたします。

当会は南さつま市加世田川畑向江にあります。地区内には幼稚園から高等学校まであり、市役所もあるので地元では学園町と呼ばれています。戸数は537戸、人口1,269人、高齢化率20%です。

「向江元気かい」は、休眠状態になっていた旧老人会とは別に平成25年1月13日に発足いたしました。現在の会員は123人で戦後生まれの会員が37人います。

組織は会長、副会長、副会長兼務の会計の3人が3役です。健康部、ふれあい部、奉仕部の3つの部と女性委員会、若手委員会の2つの委員会があります。

各部委員会の活動分担は予め規約で決めています。具体的な活動内容は35人のスタッフ会議で調整しています。

具体的な活動事例の報告は、この後各部長、委員長等がいたします。

（健康部：川畑良幸氏）

健康部のメンバーは部長、副部長スタッフを含めて8人です。

主な活動はグラウンド・ゴルフ交流会、ウォーキング交流会、夏休みの地域の子供たちとのラジオ体操、各種スポーツ大会への参加です。

他のクラブとのグラウンド・ゴルフ交流会は和気あいあいと笑いが絶えません。

ラジオ体操では元気な子供たちからパワーをもらいます。普段は3カ所に分かれて体操をしますが最終日は全員が1カ所に集まります。その日は約100名にもふくれあがります。昨年は子供たちと元気かいメンバーがハイタッチしてエネルギーを交換しました。

また、市連合会等が主催するスポーツイベントにも積極的に参加します。

（ふれあい部：木原幹雄氏）

ふれあい部のメンバーは部長、副部長、サポーターを含めて10人です。

主な活動は、お食事サロン、子供たちとの七夕飾りづくり、安否確認です。

お食事サロンでは手づくりの昔懐かしい食事が楽しみです。かくし芸の披露やカラオケ等の人気があります。

七夕の飾付けの竹の準備は若手委員が中心です。飾付けは子供たちと女性が主役になります。

今年は伝統ある加世田本町の七夕祭りに初めて出品して努力賞をもらいました。

安否確認は、85歳以上の人たちに写真やメッセージ、寄せ書きを届けています。女性委員会のメンバーが協力してくれます。

(奉仕部：藺牟田博美氏)

奉仕部のメンバーは、部長、副部長、5人のサポーター併せて7人です。

奉仕部の主な活動は、地域の安全と環境美化活動です。

地域安全活動では、30人のパトロール隊員が通学路の交差点で子供たちが休みの日以外は立哨を行っています。

また、パトロール隊員は安心パトロールのジャンパーを着用して地域内をウォーキングも兼ねてパトロールしています。このことは安否確認にもなっています。



花園の管理や公園のトイレ清掃も行っています。その模様は東京からテレビ取材もありました。トイレ清掃の合い言葉は『日本一綺麗なトイレ』です。

(女性委員会：樺山和子氏)

女性委員会のメンバーは、正副委員長と5人のサポーター併せて7人です。

活動は独自の活動もありますが、各部と共同、協力した活動もあります。

長寿者の安否確認では「素敵なお方の笑顔」写真や「メッセージ」、「寄せ書き」を85歳以上の高齢者にお届けしています。

写真は写真班がそれぞれの自宅へ出向き撮影します。メッセージは一人一人自筆で書きます。お届けするとき、お話も出来ますので近況も分かります。悩み事の相談もあります。

サロンでは、材料を持ち寄って、昔懐かしい料理をつくります。

(若手委員会：松元正文氏)

若手委員会のメンバーは、正副委員長と6人のサポーターで併せて8人です。全員が団塊の世代です。

活動は独自で企画するものもありますが、他の部や委員会と共同で行うこともあります。若手委員会は何時でも率先して動きます。飲み会の爛つけ係はもちろんです。

また、子供たちの交通安全のため、通学路等の立哨も毎朝行い、声掛けをしています。

会員は戦後生まれの人が37名、約30%を占めているところですが、「元気かい」がますます元気である様に、今後は昭和25年以降生まれの人たちの加入促進を図りたいと思っています。

(いちごサロン：川野キヨ子氏)

いちごサロンのキーマンを経験したことのあ
る川野キヨ子です。

いちごサロンは毎月15日に開催することに
しています。

希望する人がキーマンになり企画、運営しま
す。キーマンは2、3人が一組です。



これまでのテーマは「私は恋愛・私は見合い結婚」、「向江の史跡巡り」、「食べて健康・昔懐かしの味」、「昔の遊び・お袋の味」、「私の秘蔵品」などでした。講師を呼んで勉強することもあります。昔のことを思い出しながら、時間が経つのも忘れて楽しく活動するのは認知症予防にもなるとみんな喜んでいきます。サロンの食事はいつも手作りです。家庭菜園でできた

新鮮な野菜など食材はたくさん集まります。



(写真班：黒田氏)

写真班の仕事は、活動状況をもれなく撮影し、記録に残すことです。

難しいことはありません。しかし「貴方の素敵な笑顔」の写真には85歳以上の方のお宅を訪



問して、玄関先などで撮影します。先に事情は説明しますが、いざカメラを向けて「笑ってください。」といっても、表情がこわばってなかなか笑顔が出ません。

そこで、まず世間話等をして、時間をかけていくうちに表情も次第にほころんできます。そこですかさず撮影します。

撮った写真は額に入れてふれあい部や女性委員会のスタッフがメッセージなど添えて本人に届けます。

食卓の上に置いて毎日眺めている、という話を聞きますと嬉しくなります。これからもできる範囲で続けていきたいと思います。

(共同活動：田頭ツヨ子)

私は副会長の田頭です。会計も兼務しています。

会員全てに共通する活動は、3役を中心とした役員会が企画運営します。

主な活動は、総会、春の集い、花見、研修旅行、新年会、忘年会、いちごサロンなどです。

野外の花見はにぎやかです。研修旅行先を探すのには苦労します。これらの活動を支えるのは主に若手委員会のメンバーです。

いちごサロンは試行錯誤の段階ですが、毎回50人程度が参加します。超高齢社会を迎えた今日、会員外の人々の参加も歓迎しています。私たちのクラブは、皆が参加し、皆が役割を分担し、皆が元気、皆が仲間を増やし、皆が地域社会に貢献することをモットーとしています。

改正になった介護保険制度の「新地域支援活動」事業を積極的に取り入れたいと思い、現在勉強中です。

これで「向江元気かい」の活動事例発表を終わります。

